

「五葉山の魅力」

五葉山自然倶楽部
創立10周年に寄せて

64

私の住む秋田県能代市(旧二ツ井町)の街から車で十分行ったところに、標高二八七メートルの七座山(ななくらやま)があり、秋田杉、ブナ、イタヤなどの天然林が空を覆い隠すほどに広がっています。

日本海から冷たい風を受ける気象条件がアカミノウツギなどの高山植物を多く群生させています。急峻な岩山はかつて修験者の山でもあり、藩政時代に藩が直轄する御直山でした。

また、車で三十分ほどのところには秋田杉の里、旧二ツ井町には日本三大美林の一つ「水沢のす。

ただ、伐採だけが進み、豊かな天然杉の森は枯渇し、財産を失い、旧営林署は衰退の度を早めていきました。ここに大きな反省と教訓があります。

国有林・旧営林署への依存体質が、行政と民間・住民との連携に意識が及ばず、優れた資源が地域資源との認識が薄く、地域経済を自ら形成していこうとすることに繋がらなかったのです。

そんな時、住田町の木を「モクネット規格材」を「モクネット規格材」

気づかなかった「地域の力」

秋田県能代市 加藤 長光

工団地を視察の折、「五葉山」という山があることを知りました。住田町は町ぐるみで林業・林産業・木材加工を連携させた地域づくりを進めている町として、全国にその名を馳せています。

プレカットや集成材の分野にとどまらず、バイオやペレットの領域にも意欲的に取り組む全国の林産地、木材関係者がう

に根差して初めて意味を持ちます。地名や流域名を冠した金山杉(山形県)、天竜杉(静岡県)はその好例です。

これらは一朝一夕できあがったものではなく、試行錯誤の中に萌芽し、決してあきらめない強い信念、果敢に取り組み意思が思いを形にできたのです。

行きつ戻りつしながら

っていた時、「出世払いでいいよ」と力を与えてくれた人は今なお私の中にいます。

足元に目を向けると地域の「宝」がありました。豊かな森林資源を象徴する七座山、誇りある暮らしをしている地域、あたたかく見守ってくれる人々たち。

【執筆者プロフィール】一九五二年、秋田県山本郡三種町(旧琴丘町)生まれ。モクネット事業協同組合代表理事、木の家ネット代表、NPO法人緑の列島ネットワーク副理事長。



秋田杉、ブナ、イタヤなどの天然林が豊富な七座山

エッセイ